

Proxima RCAラインケーブル

【RCA-8000】 ¥85,000 (1m物：税抜)

本品はRCA-7000の基本構成にラインケーブルとしては初めての「手造り純銅無メッキプラグ」、更にProximaで初めての「純銅メッシュシールド」を取り込み正に”究極の音”を狙った製品です。まずはこの2点のご説明から…。

【 RCAケーブルにも手造り純銅無メッキプラグを初採用 】

弊社の同軸デジタルケーブルDG-7000A等に採用されている純銅プラグの良さの一端はラインケーブルでも認識していました。(RCA-5000の開発当時から)但し、RCA-5000は「柔らか系の音」で純銅プラグは確かに歪み感は少ないものの音のメリハリが出ず「商品としてはどうか？」という疑問符が付きまして。これがRCA-7000になりイメージがかなり変わります。7000番はよりシャープな音なので純銅プラグの素直な音が巧く効きだしました。この時点では「RCA-7000と比べ傾向は違うが、ほぼ同ランクの製品として発表したらどうか？」とそそられる程の印象でした。それが以下のシールドにより純銅プラグの良さが際立つようになり、一気にこれら双方を取り込んだ新ケーブルの開発に至りました。

【 Proximaシリーズ初のシールド採用 】

RCA-5000、-7000の愛用者から「何とかシールドを掛けてフォノ用のケーブルが作れませんか？」という要望がありました。一般にシールドを掛けると音が濁りやすい経験から「かなり難しい要望」と感じましたが改めて7000番で銅箔やメッシュによるシールドの効果を試すことに致しました。結果、これまでの経験通り銅箔のシールドならばかなり良い音がします。但し曲げに弱く箔が切れやすいのが欠点です。次に一般的に入手しやすいスズメッキのシールドメッシュはやはり音の悪化が酷く論外でした！但し幾つか手配した無メッキ純銅品で試してみると意外と害が少なく「これは使えそう！」な印象です。ケーブルの方向性とアースポイントを合わせたり、メッシュの太さや絞り具合(芯線との距離)を調整するとベースの7000番よりむしろ鮮やかで力強い音が出てくる事が確認できました！純銅プラグ&純銅メッシュの組合せではとくにボーカルの艶等に関して7000番とは格段な差があります。7000番と比べDレンジが拡がり、とくに声が途切れた時に底なしの静寂感があります！

【 ケーブル素材に関して 】

これはProximaケーブル共通の特徴です。内外装の高度な化学処理もクリアーで力強い音の一端を担っています。超高純度7N銅線、オーディオライン用にシリコン等の処理を最適化し、より「芯のある音」の確保に成功致しました。

さて本機の発売に伴い・・・

これまでの-7000、-5000は保守機種とさせていただきます。

8000番が完成した時点で7000番でさえ、敢えてお薦めする気にはならなくなりました！ 狙っている音の方向性は同じで数歩先に達しているのでメリットを感じられないからです。（少数ラインナップ化とデジタルケーブルとプラグを共通化することで部品作製の合理化を図り大幅な価格アップを抑える意図もあります）

但しRCA-5000、7000いずれも8000番への改造を承りますのでご相談下さい。8000番を貸出しますので改造等のご判断をお願い致します。（7000番で、およそ2/3程度の費用になりますが現品の状態をみてのネット対応のみとなります）

[その他、使用上の注意点等]

◎本ケーブルには方向性があります。製品ラベルの文字の流れの方向（右側が受け側）が弊社テスト環境での推奨方向ですが実際に比較されて装置にマッチする方向をお選び下さい。（単に音の好みではなく「アッテネーターの前後で良い方向が逆になる」等の例もあります）

他社のケーブルでも「方向性」の説明を見ることがありますが分厚い樹脂シースによって音が惚けてしまい本ケーブルのような明確な差は聴き取れないようです。

◎RCAピンジャックの形状は千差万別です。ホット側が引っこんでいるタイプではしっかり押し込んでご使用下さい。抜き差しの際は必ずプラグ本体をもって行ってください。またプラグは真っ直ぐに抜き差しし、繰り返し回すような操作は控えて下さい。ケーブルとプラグは（高音質な）軟性シリコンで固めているため十分な強度は有しません。

◎シールドメッシュですが外装シースは完全にメッシュを覆っているわけではありません。実験などで鋭い電極が出ている裸の機器に触れるとメッシュとショートする危険性がありますので充分ご注意ください。

◎外装は音の良い無染色綿麻シースを使用しています。

埃が掛かった場合は乾いたブラシで落とす程度に抑えてください。

アルコールや洗剤で洗うと音が変わってしまう危険性があります。

（埃の成分の殆どはシリカや繊維質で音に対する害は少ないものです）

◎お客様のご希望に合わせた長さのケーブル（50cm～≒3m物）も作成致します。

別紙の価格リストをご参照ください。

◎アースリング内側のクリーニングには綿棒の紙軸芯を折ったものか爪楊枝に少しティッシュを巻き付けオーディオ用クリーニング液を染み込ませて拭き取るのがお薦めです。

◎オーディオ用接点オイル類は十分に検証したもの以外は出来るだけ使用しないで

下さい！ 薄いオイルの皮膜でも音質的弊害がある場合が殆どです。

クリーニングや摩擦低減の目的で使われる場合でもティッシュ等に僅かに染み込ませ、しっかり磨き込んでから拭き取るようにして下さい。

[仕様]

- ◎ 7N高純度銅撚り線2本ツイスト構造
純銅メッシュシールド 完全Phono対応
- ◎ 内シース 無染色綿シリコーン処理加工品
- ◎ 外シース 無染色綿麻混紡導電処理加工品
- ◎ ハンドメイド純銅無メッキプラグ
- ◎ 金属外スリーブ無し（シリコーン&チューブ仕上げ）
- ◎ 重量 約70g／本・1m物
- ◎ ケーブル抵抗値（ホット&アース） 約60mΩ／1m物
- ◎ 容量値 約220pF／1m物

ご参考までに：デジタルケーブル（DG-7000A等）との違い

「音の良いラインケーブルはデジタルに使っても比較的良い音」、また逆のケースも一面事実ですが微妙な差があります。

とくに用途に合わせて高度にチューニングされたケーブルでは明かな差が出ます。

デジタルでは純銅プラグの「音が柔らか過ぎる！」といった欠点は殆ど表出しません。

（これが早くからデジタルに純銅プラグを採用した理由です）

デジタルケーブルはラインケーブルでは効果的な、あらゆるシリコーン処理を拒否します。

また、どのようなシールド処理もNGです！

広帯域なため少しでもエネルギー吸収があると波形が歪むのでしょうか…。

逆にラインケーブルでは不用な帯域は落とした方がオーディオ信号の質が上がるようで音も良くなります。

弊社でも色々検証はしましたが、デジタルをラインに転用したりラインをデジタルに転用するとかかなりの差が出て「ガッカリ！」な結果になりました。